園での出来事も
話してくれない。

～周りの子よりことばが遅いのかな？～

言語聴覚士　齋藤　久美子

園に通い始めると、、、

お友達関係であったり
集団生活であったり
毎日不安が絶えません。

そう不安に子どもたちの帰りを待っている保護者の方も少なくない。

お友達とトラブルがなかったか？

喧嘩して嫌な思いしていないかな？

そう思うの保護者として当然のこと。

ここでは集団生活について

生まれてから今までずっと保護者の方と1日中過ごしてきた中で急に同じ年齢の子達と数時間過ごす環境に飛び込むのは本人にとって心や体にも負担が大きくかかります。

同じくらいのお子さんと慣れる準備をしましょう。

・子育て支援センター、一時保育、プレ幼稚園　などの資源も活用しましょう

子ども同士の関わり

家族と過ごすことが多かった分、自分が要求を伝えなくても、

先回りして保護者が行ってくれる環境であった。

しかし、集団生活になると自分の要求は言葉にして伝えないと

応えてもらえない、そんな環境になる。

家でも「スプーンください」「おトイレ行きます」など

簡単でいいので要求や行動を言葉にする習慣を付けよう。

ルールや時間の概念

お家で好きなときに好きなことしていた分、

決まり事や時間の管理がある園での生活を受け入れるまでに

時間がかかることも。精神的・身体の負担のためにも以前に

お家でも取り入れていこう。

砂時計で遊びの時間を制限する。タイマーがなったら食事が

はじまる。物は順番に使うなど事前に伝えて行動を促そう。

月齢による言語年齢の差

園では年齢でクラスが分けられるため、同じクラスでも

11ヶ月ほど生活年齢が離れてしまう場合も。

そのため、送迎の際に他の子と比べてしまう、

言えないことや出来ないことばかり目がいってしまうことも。

最初の動画でもお伝えしましたが、個人差があるのは当たり前。

他人軸ではなく、自分たちの軸で成長は図っていこう。

出来ないところではなく、出来たことに目を向けよう。

気になることは先生に伝える

こんな事を園の先生に伝えてたら変に思われないかな？

と相談することを躊躇ってしまう保護者の方からも多い。

集団になると先生が全てを把握するのは難しいことも。

子ども同士では解決できないことばかりですし、ちょっとしたトラブルが行き渋りや自信喪失に繋がってしまうことも。

トイレや食事やコミュニケーションや人間関係など気になることは紙面で先生に伝えましょう。そのためにも観察、、、

我が子が園での話をしてくれない？

園から帰宅後、保護者の方は「どうだった？」ってついつい聞いてしまう。ことばの発達が未熟な乳幼児期はまだまだ目の前にはない出来事を鮮明に話す言語の能力に達していない。

また、過去の出来事より目の前の物に注意が向きやすいので

「わからない」「忘れた」など言って答えてくれない。

そのため、落ち着いているときに「〇〇君はいた？」「お当番さんはどんなセリフ？」など答えやすい質問をしていこう。

不安になりやすい集団生活

保護者の方と離れることでお互い不安になりやすい。

事前に準備することでお子さんのワクワクする集団生活に

繋がる。そのためのも最初にお伝えした言語年齢やその他の

機能、会話に関して日常やあそびの中で観察し、園とも連携して

お子さんのサポートしていこう。

保護者の方の行動と発信が安心を創ることができる。

次回は「家庭でできる言語の育み。」について。

ご覧いただきありがとうございました